

患者さんへ

「肝臓腫瘍（かんぞうけつかんきんしぼうしゅ肝臓血管筋脂肪腫）の研究」について

神戸大学医学部附属病院病理診断科では、現在、平成 11 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までの期間中に肝臓の外科的切除を受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

【研究概要および利用目的】

神戸大学医学部附属病院病理診断科では、肝臓腫瘍の研究を行っております。この研究は、神戸大学を含む国内複数の施設（大阪市立総合医療センター、製鉄記念広畑病院、兵庫医科大学）が参加する共同研究です。

血管筋脂肪腫は肝臓に発生する稀な腫瘍で、その腫瘍発生メカニズムはよくわかっていません。近年、血管筋脂肪腫の類縁腫瘍（るいせんしゅよう同じような特徴をもった腫瘍）で TFE3 という遺伝子の異常が明らかにされました。本研究では、TFE3 の異常が肝臓の血管筋脂肪腫の発生にも関与しているのかを研究します。もし、この関連性が明らかになれば、肝臓血管筋脂肪腫の診断や治療に役立つ知見に発展する可能性があります。

【研究期間】

この研究は、神戸大学大学院医学研究科長承認年月日（平成 27 年 11 月 20 日）から平成 29 年 12 月 31 日まで行う予定です。

【取り扱う試料およびデータ】

- ・患者背景：性別、年齢
- ・血液検査の結果：術前の腫瘍マーカー
- ・臨床経過データ：診断契機、術後経過
- ・放射線学的データ：術前の画像所見
- ・切除された肝組織：びょうりそしきがくてきとくちょう病理組織学的特徴（顕微鏡を用いて解析します）、遺伝子の転座

【個人情報保護の方法】

個人情報、検査結果などの記録、保管は第三者が直接患者さんを識別できないよう登録

時に定めた登録番号を用いて行います。また得られた記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科病理診断学研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。

【研究への試料およびデータ提供による利益・不利益】

利益・・・本研究にデータをご提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、本研究結果が、血管筋脂肪腫の診断や治療に役立つ可能性があります。

不利益・・・本研究では、保管されている病理組織検体ならびに臨床データを収集するのみであるため、不利益や危険性が生じることはありません。

【研究終了後の試料およびデータの取り扱いについて】

研究終了後には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄します。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【研究への試料およびデータ使用の取り止めについて】

いつでも可能です。病理標本やデータを本研究に用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。病理標本やデータ使用の同意を取り消されても、患者さんに不利になることや、今後の治療で気まづくなるなどの不利益が生じることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

【問い合わせ窓口】

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、あるいはご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理診断学分野病理ネットワーク学部門

特命教授 全 陽（ぜん よう）

連絡先：078-382-6473